

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第547号 令和5年9月・10月



『カトレア マキシマ』 森本 晋

目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	8) 広報だより	小高哲郎 … 12
2) 専門医に学ぶ	鏑田拓那 … 4	9) 連載企画	三ツ汐 洋 … 13
3) 定時社員総会報告	総務部 … 7	10) 理事会報告	広報部 … 14
4) 学術講演会予定	学術部 … 7	11) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 15
5) 「かかりつけ医」とは?	進藤幸雄 … 8	12) 表紙のことば	森本 晋 … 20
6) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	宮村慧太郎 … 10	13) あとがき	菊池 孝 … 20
7) 産業医研修会報告	津田倫樹 … 11	14) お知らせ	事務局 … 21

保健所だより

感染症だより 6月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023年第16週～第19週（4/17-5/14）の間に保健所で受理された感染症について、管内（青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩）の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 1件 潜在性結核感染症 10代 1件。

〈五類感染症〉

- ・梅毒 1件 早期顕症梅毒 I期 30代 男性 1件。推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 190件（疑似症・取り下げ除く暫定値）

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第16週	第17週	第18週	第19週
		4/17～	4/24～	5/1～	5/8～
インフルエンザ	インフルエンザ（外来）	5	4	2	3
COVID-19	COVID-19				35
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱		1	3	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3		2
	感染性胃腸炎	27	29	26	16
	水痘				
	手足口病	1	1		3
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	3	2	2	
	ヘルパンギーナ				
	流行性耳下腺炎				
	不明発疹症				
眼科	川崎病				
	急性出血性結膜炎				
基幹病院	流行性角結膜炎				
	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				
	インフルエンザ（入院）				
	合計	37	40	33	62

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 18週(5/1～5/7)時点

全体的に、前週に比べて定点当たり報告数は減少していますが、連休中の医療機関の休診が影響していると考えられます。

感染症だより 7月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023年第20週～第23週(5/15-6/11)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 4件 肺結核 3件(80代1件、90代2件)、疑似症患者 80代1件。推定感染地は国内1件、不明3件。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染1件、陳旧性肺結核再燃1件、不明2件。

〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者 O157型 20代1件、無症状病原体保有者 O26型 30代1件。推定感染地は国内2件、推定感染経路は不明2件。

〈四類感染症〉

- ・レジオネラ症 2件 肺炎型 2件(60代1件、70代1件)。推定感染地は国内1件、不明1件。推定感染経路は水系感染1件、不明1件。

〈五類感染症〉

- ・梅毒 2件 早期顕症梅毒Ⅰ期 40代男性1件。早期顕症梅毒Ⅱ期 20代女性1件。推定感染地は国内2件、推定感染経路は性的接触2件。
- ・百日咳 1件 患者 10代1件。推定感染地は国内、推定感染経路は不明。
- ・水痘(入院) 1件 患者 30代1件。確定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染。

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第20週 5/15～	第21週 5/22～	第22週 5/29～	第23週 6/5～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)	5	19	35	33
COVID-19	COVID-19	41	29	55	39
小児科	RSウイルス感染症			1	
	咽頭結膜熱	1	3	3	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	7	7	5
	感染性胃腸炎	21	17	16	12
	水痘	1	1		1
	手足口病	1	1	1	4
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	2	4	4	3
	ヘルパンギーナ		3	6	22
	流行性耳下腺炎			1	
	不明発疹症				
眼科	川崎病				
	急性出血性結膜炎				
基幹病院	流行性角結膜炎				
	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	インフルエンザ(入院)				
	合計	76	84	129	121

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 23週(6/5～6/11)時点

- ・新型コロナウイルス感染症は5.99、ヘルパンギーナは3.75と先週より増加しています。
- ・RSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

文責：西多摩保健所保健対策課

専門医に学ぶ 第162回

青梅市立総合病院 リウマチ膠原病科 鰐田 拓那先生

【症例】 70 歳女性

【主訴】 両大腿および下腿の圧痕性浮腫

【現病歴】 X-29 日より下腿の浮腫が出現した。その後も浮腫は悪化したため X-5 日に前医を受診、血液検査で CRP 7.65mg/dL と高値、造影 CT では胸腹水貯留・多発リンパ節腫大を認め、X 日に当院を紹介受診した。

【既往歴】 高血圧症、緑内障、腰部脊柱管狭窄症

【家族歴】 長女：関節リウマチ

【常用薬】 ボノプラザン 10mg/ 日、カンデサルタン 8mg/ 日、アムロジピン 2.5mg/ 日

【入院時現症】

体温：37.3°C、脈拍：80 回/分、血圧：146/73mmHg、SpO₂：98%（室内気）。

眼瞼結膜貧血なし、眼球結膜黄染なし。頸部～鎖骨上窩にかけて最大 1cm 大までの弾性軟・可動性良好・軽度有痛性のリンパ節腫大を複数認める。心音正常、呼吸音は下背側で減弱。腹部軽度膨満・軟、腸蠕動音正常、自発痛・圧痛なし。両大腿および下腿に著明な圧痕性浮腫あり。皮疹なし。四肢の異常知覚なし。

【入院時検査所見】

【尿定性】 蛋白（±）、潜血（-）

【尿生化】 ベンズジヨーンズ蛋白（-）

【血算】 白血球 9610/ μ L（Neu 89.3%、Ly 6.0%、Mo 3.3%）、Hb 11.8g/dL、血小板 12.8 万/ μ L、破碎赤血球なし

【生化学】 Alb 2.3g/dL、T-Bil 0.3mg/dL、AST 18U/L、ALT 15U/L、LDH 142U/L、ALP 87U/L、BUN 13.3mg/dL、Cre 0.64mg/dL、Na 140mEq/L、K 3.7mEq/L、CRP 11.39mg/dL

【凝固】 PT-INR 1.10、APTT 30.3 秒（対照 28.4 秒）、フィブリノーゲン 398mg/dL、FDP 19.1 μ g/mL、ADAMTS13- 活性 40%

【内分泌】 TSH 1.965 μ IU/mL、FT3 1.7pg/mL、FT4 1.1ng/dL、BNP 44.5pg/mL

【免疫】 IgG 1253mg/dL、IgA 389mg/dL、IgM 41mg/dL、IgG4 7mg/dL、可溶性 IL-2 受容体 2049U/mL、リウマトイド因子 4U/mL、抗核抗体 80 倍（Homogeneous）、抗 ds-DNA 抗体 0.6U/mL 未満、抗 SS-A 抗体 137.6U/mL (>10)、抗 SS-B 抗体 6.2U/mL、MPO-ANCA <0.2U/mL、PR3-ANCA <0.6U/mL、抗カルジオリピン IgG 抗体 <2.6、抗 β 2GPI IgG 抗体 <6.4、抗 β 2GPI IgM 抗体 <1.1、ループスアンチコアグラント（dRVVT）1.0、M 蛋白（-）

【胸部単純 X 線】 心胸郭比 54%、両側肋骨横隔膜角は鈍、両下肺で透過性低下

【胸腹骨盤造影 CT】 頸部から両側鎖骨下・腋窩、縦隔、鼠経に最大短径 15mm 大までの腫大リンパ節を多数認める。右優位に両側胸水あり。軽度肝腫大あり。明らかな脾腫なし。腹水あり。（図 1）

[図1] CT所見



【追加検査】

[血液検査] 血管内皮増殖因子 (VEGF) 7992.6pg/mL (>1000)、インターロイキン -6 (IL-6) 40pg/mL (>7.0)

[骨髓生検] びまん性軽度に好銀線維増生を認める。芽球や未熟細胞の増殖像なし。リンパ球様細胞の集簇・増殖浸潤像なし。巨核球数 35 個程度、微小巨核球も散見。

[左鎖骨下リンパ節生検] リンパ濾胞構造は概ね保たれる。濾胞間内皮細胞の腫大した血管の増生が目立つ。濾胞間を主体に形質細胞浸潤が目立つ。異型リンパ球様細胞なし。

【問題】

本症例の診断と治療は？

【解説】

診断：TAFRO 症候群

治療：高用量ステロイド（プレドニゾロン 1mg/kg 相当）に加えて、シクロスポリン（CsA）、トシリズマブ（TCZ）、リツキシマブ（RTX）などの免疫抑制剤を併用することが多い。

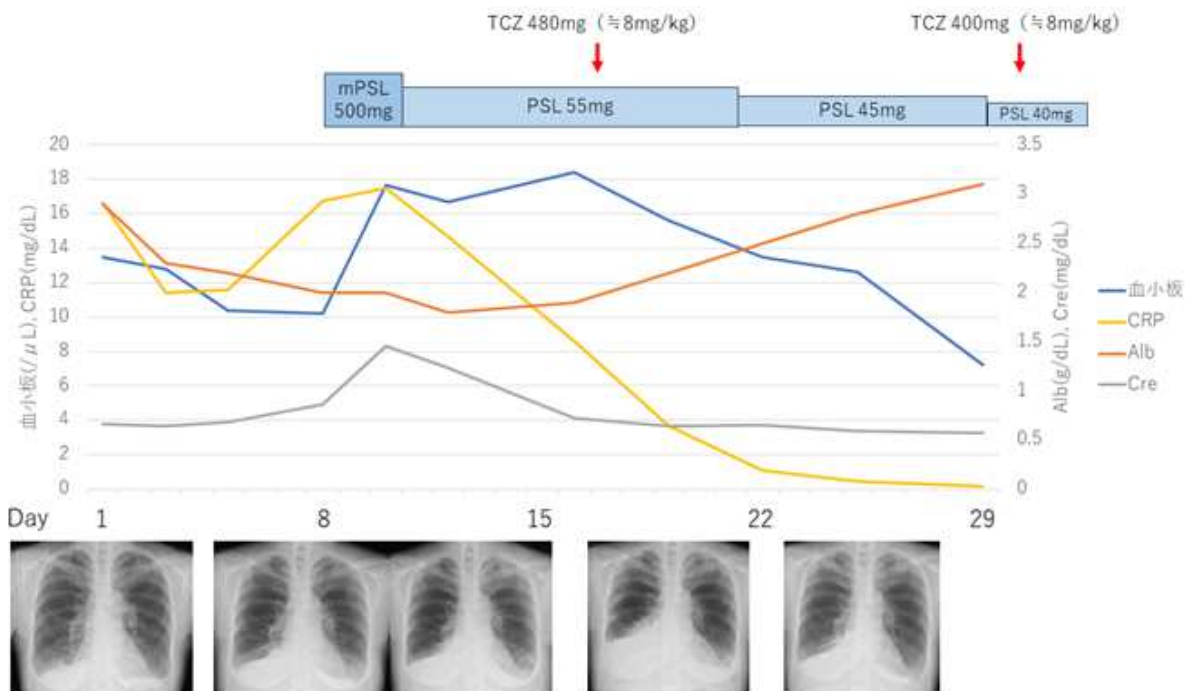
- 2010 年に高井らにより血小板減少 (Thrombocytopenia)、全身性浮腫 / 胸腹水 (Anasarca)、発熱 (Fever)、骨髓線維化 (Reticulin fibrosis)、肝・脾・リンパ節などの臓器腫大 (Organomegaly) を伴う 3 症例が報告され、各症状の頭文字から TAFRO 症候群と呼ばれるようになった。
- 明らかな病因は不明であるが、多中心性キャスルマン病との類似点が多く、類縁疾患とされている。血液中の血管内皮細胞増殖因子 (VEGF) やインターロイキン-6 (IL-6) が高値となることが多く、これらのサイトカインによる血管透過性の亢進や炎症の惹起が発症に大きく関わっていると考えられている。
- 本症例では診断基準（表）の中で主要項目②は厳密には満たしていなかった。しかし、血小板数は減少傾向（治療開始時点で $10.2 \text{ 万}/\mu\text{L}$ まで低下）であり、さらに主要項目の①・③、小項目①～④の全てを満たし、除外すべき疾患などが鑑別されたことから、TAFRO 症候群と診断した。
- Day8 より 3 日間メチルプレドニゾロン (mPSL) 500mg/ 日を点滴静注し、Day11 より経口プレドニゾロン (PSL) 55mg/ 日を投与した。第 17 病日より TCZ も併用し、体液貯留・低 Alb 血症・腎機能は改善傾向である（図 2）。血小板数は依然低値だが、本疾患における血小板数の回復には平均で約 2 ヶ月を要するという報告もあり、慎重な経過観察を継続する。

[表] TAFRO 症候群の診断基準

TAFRO症候群の診断基準 (主要項目3つ+小項目2つ以上+除外すべき疾患の否定→TAFRO症候群と診断)	
主要項目	1. 体液貯留 (胸腹水、全身性浮腫) 2. 血小板減少症 (≤ 10 万/ μ L) 3. 全身性炎症 (37.5°C 以上、または、CRP ≥ 2 mg/dL)
小項目	1. キャッスルマン病様のリンパ節病理 2. 骨髓細網線維化または骨髓巨核球増多 3. 軽度の臓器腫大 (肝、脾、リンパ節) 4. 進行性の腎障害
除外すべき疾患	1. 悪性腫瘍 (悪性リンパ腫、骨髄腫、中皮腫など) 2. 自己免疫疾患 (SLE、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎など) 3. 感染症 (抗酸菌、リケッチア、ライム病、SFTSなど) 4. POEMS症候群 5. 肝硬変 6. 血栓性血小板減少性紫斑病/溶血性尿毒症症候群

Y Masaki, et al. *Int J Hematol.* 2020.

[図 2] 治療経過



<参考文献>

- Masaki Y, et al. 2019 Updated diagnostic criteria and disease severity classification for TAFRO syndrome. *Int J Hematol.* 2020 Jan;111(1):155-158.
- Matsuhisa T, et al. Fatal case of TAFRO syndrome associated with over-immunosuppression: a case report and review of the literature. *Nagoya J Med Sci.* 2019 Aug;81(3):519-528.
- 伊藤ら, 両側副腎出血を合併した TAFRO 症候群. 日内会誌. 2017; 106(2):288-294

2023年度 西多摩医師会定時社員総会報告

総務部

2023年6月27日(火)午後8時よりフォレスト・イン昭和館で2023年度定時社員総会が開催されました。進藤幸雄会長による開会挨拶の後、仮議長に神應知道先生が指名され、神應仮議長により議長・副議長・議事録署名人の選任が行われました。議長には玉木一弘先生、副議長には江本浩先生、議事録署名人には下村智先生、土田大介先生が選任されました。会に先立ち物故会員に対する黙祷が行われ、玉木議長の総会開会宣言により議事に入りました。

(資格審査：議場出席26名、委任状による出席109名、合計135名であり、議決権のある社員総数205名の過半数(定足数)103名以上のため総会は成立)

報告事項

2022年度事業報告、2023年度事業計画 井上大輔総務部長より説明

2023年度収支予算 鈴木寿和経理部長より説明

審議事項

第1号議案：2022年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録につき承認を求める件承認

玉木議長の閉会宣言により定時社員総会は滞りなく終了し、引き続き2023年度西多摩医師会互助会総会、2023年西多摩医師政治連盟・東京都医師政治連盟西多摩支部総会が進藤幸雄会長を議長として行われ、案件は全て承認されました。古川朋靖副会長による閉会挨拶で総会は無事終了いたしました。

総会終了後には4年ぶりとなる懇親会が、進藤幸雄会長による御挨拶、近藤之暢監事による乾杯の御発声により執り行われました。短い時間ではございましたが、旧知の皆様とのうれしい再会や新しい先生方との出会いなど、対面の交流の良さを改めて感じました。最後には、進藤晃副会長により、皆様の御発展、御健勝を祈念し会を締めくくりました。(文責：総務部 井上大輔)

◇学術講演会予定

令和5.8.18

開催日	開始～終了時間	会場	単位数	CC	集会名称・演題	講師(役職・氏名)
9/1 (金)	19:00 ～ 20:00	Web配信 (Zoom) 又は、 西多摩 医師会館	1	81	学術講演会 「西多摩緩和ケアセミナー」 演題「当院におけるオピオイド鎮痛 薬の使い方と副作用対策」	青梅市立総合病院 緩和ケア科 部長 松井 孝至 先生
9/13 (水)	19:00 ～ 20:10	【Web講演】	1	70	学術講演会 演題「うつ病の病態と栄養学的 アプローチ」	帝京大学医学部 精神神経科学講座 主任教授 功刀 浩 先生
10/4 (水)	19:00 ～ 20:00	【Web講演】	1		学術講演会 「第38回西多摩心臓病研究会」 演題「未定」	順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学 准教授 末永 祐哉 先生
10/18 (水)	19:30 ～ 20:40	【Web講演】	1		学術講演会 「第21回西多摩高血圧カンファレンス」 演題「当院でのARNI処方患者について」(仮) 演題「高血圧最新トピック～クリニカルイナーシャ、どう対処していますか?」(仮)	梅郷診療所 院長 江本 浩 先生 公益財団法人心臓血管研究所 所長 山下 武志 先生

「かかりつけ医」とは？

一般社団法人 西多摩医師会 会長 進藤 幸雄



日頃より西多摩医師会会務に多大なご協力を賜り誠に感謝致します。

さて、3年以上に渡る新型コロナウイルス感染症対策も感染症分類が5類に変更され漸くひと区切りついて参りました。西多摩医師会では、東京都の事業を利用し、自宅療養者支援事業、高齢者施設に対する医療支援強化事業等を行って参りました。医師会の先生方には大変なご協力を頂き、おかげ様で自宅療養者支援事業は306名の患者さんに実施され、そのうち遠隔診療が284件、往診は22件に実施されました。高齢者施設に対する医療支援強化事業は51名の患者さんに実施され、そのうち遠隔診療40件、往診11件という実績でした。改めまして深く感謝申し上げます。

さて、今回の新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、患者が病院で診てもらえない、という医療崩壊が全国各地で発生しました。高齢者施設で次々クラスターが発生し、高齢の患者さんが次々に急性期病院に運ばれ病床が埋まり、自宅療養中の方が重症化して救急車を呼んでも搬送先が見つからない事態となりました。患者の受診を制御できず軽症や中等症の患者で病床が埋まってしまったというのも要因の一つでした。また、コロナ対応に人員を要し、一般患者さんの治療が後回しになってしまったり、ベッドはあっても医師や看護師が不足して対応できないなど、日本の医療制度の根本的な問題も露見したといえます。

このような医療崩壊を経験し、改めて「かかりつけ医」とは何か、という議論が活発化しています。発熱して受診しようとしても診てもらえない、自宅療養を余儀なくされているが往診してくれる医療機関がない、など病院以外でも医療崩壊は起きていました。厚生労働省の諮問機関である社会保障審議会では「かかりつけ医」について法制化まで議論されました。ここで話し合われた「かかりつけ医」に求められている機能は(1)外来医療の提供(幅広いプライマリケア等)(2)休日・夜間の対応(3)入退院時の支援(4)在宅医療の提供(5)介護サービス等との連携などでした。現時点では法制化には至りませんでした。今後かかりつけ医機能が発揮される制度整備を進める方向となっています。

新型コロナウイルス感染症パンデミックは、20年先の少子高齢多死社会、所謂2040年問題を前倒して見てしまったと言われていています。2040年頃には、新興感染症が発生していなくても今回のような医療崩壊が起こるであろうと予想されています。その時に重要視されているのが「かかりつけ医」の機能です。「かかりつけ医」に求められている機能は先述致しましたが、欧州諸国の家庭医や総合診療医を参考にしているものと思われます。幅広い総合診療能力を有し、休日・夜間に対応し、在宅医療を提供し、介護サービスとの連携も行うなど、個人の医師には達成困難に思われ、「医師の働き方改革」と逆行しているような内容にも思えます。しかしながら、地域医療を担う我々は、これらの要求を無視することは許されず、個人の医師では実現不可能でも、地域としての実現を目指す必要があると考えております。

上記の「かかりつけ医」機能のうち最も達成困難な課題が休日・夜間の対応だろうと考えます。現在東京都医師会では、休日・夜間対応の課題解決に向けて在宅医療推進強化事業を進めており

ます。これは、一つの医療機関で休日・夜間や往診に対応しようとしても困難ですが、他の医療機関等と連携するなどして体制を構築するというものです。かかりつけ医個人の機能向上というよりも、地域全体の「かかりつけ医」機能向上を目指したものです。コロナ禍において構築された在宅療養者支援事業の仕組みを生かしながら、コロナに限らず療養者を24時間支援する医療体制を構築しようというものです。無謀な挑戦のようにも思えますが、東京都医師会に所属する47地区医師会のうち、ほとんど全ての地区医師会が実施を希望する意向を示しております。西多摩地域は都心部に比べ医療機関数も医師数も少なく、大規模往診専門医療機関もなく、体制構築は困難を極めると予想しておりますが、当初不完全なものであっても、徐々に改善を進め地域に必要と思われる地域の実情にあった事業を構築したいと考えております。

さて、「かかりつけ医」に求められている機能について、先述の5つの要素が例示されていると述べましたが、もう一点是非付け加えて頂きたいのが「社会的処方」です。「社会的処方」とは、薬を処方するのではなく、社会生活上の課題解決に向けて「社会とのつながりを処方する」という考え方です。多くの高齢者は身体的問題に加え、社会とのつながりががないために生活が困難になっていることが少なくありません。徐々に外来通院が困難になってきている患者さんに、介護保険申請を促すでもよいですし、地域包括支援センターに相談を促すでもよいと思います。地域資源を把握し、誰に相談して良いのかわからずに孤立しかけている患者さんやご家族にアドバイスを与えるのも「かかりつけ医」の重要な役割と考えます。

最後に、「かかりつけ医」の総合診療能力向上について、先日、公立福生病院吉田英彰院長より東京女子医大総合診療科セミナーをご案内頂きましたので、下記にご紹介致します。このセミナーは東京女子医大総合診療科が実施しており、対象は総合診療に興味があればどなたでも参加が可能となっています。他意はございませんが、「かかりつけ医」機能向上に役立つと思われるものは今後も様々ご紹介してゆきたいと思っております。

今後の先生方の益々のご活躍を祈念いたしますとともに、西多摩地域の医療の発展を願い、「かかりつけ医」機能向上を目指す西多摩医師会の活動に是非ともご協力を賜りたくお願い申し上げます次第です。

東京女子医総合診療セミナー

対象：総合診療に興味のある全ての医師・学生・コメディカル

https://www.twmu.ac.jp/hospital/PCC/study/seminar_univ.html

参考文献

1) 近未来のTOKYO医療に希望はあるか？

医療の安心と安全を保つために－医療者と都民で「超えるべきハードル」

TMA 近未来医療会議

2) 地域包括ケア委員会答申

「新型コロナウイルス感染症で見た地域課題と新たな多職種連携について」

公益社団法人 東京都医師会 地域包括ケア委員会

糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 宮村慧太郎 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

【高血糖症状出現後4日で糖尿病性ケトアシドーシスに至った劇症1型糖尿病の1例】

青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科

宮村慧太郎

【症例】53歳女性【主訴】口渇、多飲、多尿、体重減少

【現病歴】X年Y-2月の健康診断では空腹時血糖値95mg/dL、HbA1c5.3%と耐糖能異常を認めていなかった。X年Y月Z-4日頃から急激な口渇感を自覚し、かかりつけの近医クリニック受診しY月Z-1日に血液検査を行った。Y月Z日に判明した血液検査で血糖値825mg/dL、HbA1c6.5%と高血糖を指摘され当院救急搬送となった。当院での血液検査でpH 7.099、HCO₃⁻ 5.2mmol/L、AG 27.8とAG開大性代謝性アシドーシス、血糖値1552mg/dL(HbA1c 7.0%)と著明高値、尿ケトン2+より糖尿病性ケトアシドーシスの診断で同日緊急入院となった。

【既往歴】高血圧症【常用薬】アムロジピン5mg【家族歴】兄:2型糖尿病【生活歴】飲酒:なし、喫煙:なし【血液尿検査所見】尿ケトン(3+)、血糖 1552mg/dl、HbA1c 7.0%、血中Cペプチド 1.2 ng/ml、抗GAD抗体<5.0 U/ml、抗IA-2抗体<0.6 U/ml、抗インスリン抗体<0.4%

【入院後経過】細胞外液の補充とインスリンの持続静注による治療を開始し、代謝性アシドーシス改善後にインスリン皮下注射に切り替えインスリン単位数の調整を行った。2ヶ月前の健診で糖尿病はなく、入院時のHbA1c7.0%と上昇なく、4日前からの高血糖症状があり、初診時の血糖値852mg/dLと高値、入院時のインスリン分泌能はCペプチド1.2ng/dLと枯渇には至っていなかったが、第13病日の蓄尿Cペプチドが5.0μg/dayと低下しており劇症1型糖尿病と診断⁽¹⁾した。劇症1型糖尿病は高血糖症状出現後1週間程度以内で糖尿病性ケトアシドーシスに至る疾患であり、急激に高血糖症状を呈している症例では尿ケトン体についても確認し糖尿病性ケトアシドーシスの可能性について評価する必要がある。

【文献】

1. 劇症1型糖尿病診断基準(2012)日本糖尿病学会

(日本医師会認定) 東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会

令和5年7月30日(日) S&D たまぐーセンター(青梅市文化交流センター)において、日本医師会認定の東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会が開催された(参加者 122名)。コロナ禍での開催のため、会場の換気を十分に行い、参加者にはマスクの着用をお願いし、感染対策に留意しながら行った。初めに、西多摩医師会進藤幸雄会長より御挨拶をいただき、午前10時から午後4時10分まで、昼に1時間の休憩をはさんで行った。この研修会のすべての講義に参加することにより、基礎研修の受講者では後期研修2単位と実地研修3単位の取得が、生涯研修の受講者では更新研修1単位、専門研修1単位及び実地研修3単位の取得がそれぞれ認められた。

1時限目は、産業医科大学産業衛生教授浜口伝博先生による「労働関係法令と産業医の役割」をテーマにした講義があり、働く中には危険がいっぱいあるために作業環境管理、作業管理、健康管理を行う産業医が必要であり、平成31年4月施行の労働安全衛生法第十三条に産業医が健康管理等を誠実にを行う義務が、規則第十四条には産業医の知識能力向上義務が明記されたことを説明された。

2時限目は、同じく浜口先生による「産業医活動の進め方」をテーマにした講義があり、健康診断は診断することが目的ではなく、労働者の安全・健康を適正に管理することが目的であり、事後措置として保健指導や労働負荷の調整が重要であるとのことであった。ストレスチェックについても、職場ストレスの低減化が目的であり、事後措置として面接指導の実施、事業者による意見聴取、就業上の措置の実施が重要であるとのことであった。

午後からは3グループに分かれて実地研修が行われた。

3時限目は、アッシュコンサルティングサービス合同会社の鈴木英孝先生による「職場の感染症対策―事例検討―」をテーマにした講義があり、感染対策を進めるにあたり感染経路、症状、潜伏期間、感染力、ワクチンや治療薬の有無、暴露後対策の有無などの基本情報の共有が重要であり、主要な感染症ごとの対応マニュアルの作成が望ましいとのことであった。実習として、職場で風疹患者が発生したとの設定で、その後の対応としてリスクコミュニケーション、接触者調査の実施、感染者への対応の観点からグループディスカッションを行った。

4時限目は、産業医科大学産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学の菅野良介先生による「職場のメンタルヘルス―事例検討―」をテーマにした講義があり、メンタル不調者に対するメンタルヘルスケアでは3つの軸で考えることが基本であるとのことであった。第1には疾病性であり、病気の有無や症状の程度など体調面での問題があるかどうかである。第2には事例性であり、勤務状況、安全に通勤・就労ができていないか、パフォーマンスの低下がないかどうか、周囲への悪影響の有無などで業務面での問題があるかどうかを確認することである。第3に業務起因性であり、長時間労働やハラスメント行為が業務で生じていないかどうかである。この3軸を用いて、うつ病とパワハラ2つの事例についてグループディスカッションを行った。

5時限目は、認定栄養ケア・ステーション和の所澤和代先生による「食生活習慣におけるチェックと職場での指導ポイント」をテーマに、実際に前日の食事内容を書き出し、それをもとに主食、主菜、副菜がそろい、糖質、蛋白質、脂質の三大栄養素及びビタミン、ミネラル、食物繊維を含んだ栄養バランスの良い食事について説明された。

福島の旅で感じたこと

あきるの杜きずなクリニック 小高 哲郎

当院は、今年5月で、開院6年目を迎えた。5月のコロナ5類移行に伴い、当院も3年間務めた診療検査医療機関の役割を終えた。コロナが落ち着いたとは言えない状況ではあるが、この夏は1週間の夏季休診をとることとした。娘にとっても、今年は小学生最後の夏休みということもあり、どこへ連れて行ってあげようかと考えたいたのだが、ふと、「今年は福島に行こう」と思い立った。福島へ行きたいと思った理由は、娘が生まれたのが、東日本大震災と同じ年であり、娘に一度、福島を見せておきたかったからだ。

東日本大震災が起こった2011年の4月に、私達は西多摩での暮らしを始めた。都心の大学病院で小児外科診療を行うことにストレスを感じていた私と、若くして弟を肺がんで亡くした妻にとって、新たなスタートを切るための選択であった。その後、福生病院外科での2年間勤務、埼玉医大小児外科での5年間勤務を経て、現在のクリニック開院に至ることになるのだが、西多摩での生活を始めた2011年の12月に私達のもとに、待望の娘がやってきてくれた。福島の人達の苦しみの上に、私達は幸せをもらい、娘も健やかに育ってきた。

今回は、娘の夏休みの旅行という趣旨だったので、娘の好きな水族館を中心に旅行の予定を組んだ。帰省ラッシュを回避するために、早朝に出発し、いわきの水族館を見学して、土湯温泉に宿泊。2日目は猪苗代の水族館を見学後、五色沼を散策して、裏磐梯に宿泊。3日目は、猪苗代湖畔にある「野口英世記念館」を見学後、会津若松を見学して、芦ノ牧温泉に宿泊。4日目は、大内宿の見学をした。最終日は、台風が心配された中、福島を眺めながら、僕自身は、25年前に亡くなった母のことを思い出した。

そういえば、私が小学生最後の夏に母に連れて行ってもらったのも、福島だった。母がなぜ、福島への旅行を企画したのかは分からないが、その時は「野口英世記念館」と会津若松に行くのが目的だったようだ。当時の母は、私を医師や研究者になることを期待していたわけではなかったが、きっと、苦労して子供に勉強をさせて野口英世の母に自分を重ねていたのかもしれない。また会津若松を訪ね、白虎隊の秘話を伝え、平和な時代に普通に勉強ができることの幸せについて伝えたかったのかもしれない。

福島は、震災とその後の原発事故による被曝、中傷被害に耐え、立派に復興しつつある。磐梯山や猪苗代湖などの自然に見守られ、郷土の誇りを胸に、子孫のために頑張っている人々に対しては、尊敬の念を覚える。震災の年に生まれた娘にも、困難に打ち克てる人間に育ってほしいと、心から願いながら、福島を後にした。

連載企画

ちひろメンタルクリニック 三ツ汐 洋



この文章を書くにあたり、このところ、自分が、読書することがめっきり少なくなっているのに気がつきました。最近、ネットや YouTube などを見つめてサッと見て終わりということがほとんどです。長い本を読むという根気が、なくなったように感じます。読みかけの本もいくつかありますが、そのままほったらかしになっています。面白そうな本はあるので買い込むのですが、読まないで溜まっています。映画もそうたくさんは見えていません。いちばん最近見たものは「君たちはどう生きるか」ですが、宮崎駿監督のこれまでのいろんな作品の一部が入り込んでいるところに気が付きました。ただ、「このテーマでどうしてこの内容？」という疑問が残った映画でした。面白くないわけではないのですが、もっとメッセージ性のあるものかと思っていたので、予想とはだいぶ違っていました。私の受け止め方の問題かもしれませんが。

それで、今回は、豊島園の跡地にできたワーナーブラザーズ スタジオツアー東京-メイキングオブハリーポッターに行ってきた話です。家からはひたすら新青梅街道をまっすぐ走って、1か所だけ曲がると着いてしまうという、とても行きやすい場所でした。豊島園には、研修医のころ、患者さんたちと一緒に1回行ったことがあるだけで、その思い出しかありません。道の両側に「豊島園会館」とか「豊島園〜〜」とかの看板がいくつもあって、豊島園がなくなっても名前は残るんだなと少し感心しました。

すべて時間指定の予約になっていて、少し早めに行ったのですが、すぐに中に入れました。例によって、とても暑い日で、館内は冷房が利いていて、早く入れて助かりました。真夏や真冬など外の気候が厳しい時期には最適の場所かもしれません。入ってすぐに館内の説明を聞けるイヤホン付きの装置を借りられるようになっていて、各自でそれを操作して各部署の説明を聞くようになっていました。しかし実際には、私はほとんどその説明は聞きませんでしたので、かえってちょっと荷物になって邪魔かなと思いました。

館内はかなり広くて、道順ができており、そこを歩いて行きながら、周りに展示されているものを次々に見ていくようになっていきます。中に入ってから自由で、自分のペースでゆっくりでも早くでも、各自好きなように見ていけるようになっていきます。映画の中のいろんな場面のセットが作られていて、展示されています。また、それらの制作過程についての詳しい説明もありました。途中で何か所か、自分で体験できることや、それを動画に撮ってくれるところがあります。そんなに混んでなくて、すんなり体験や動画撮影にも参加できました。

私自身はそんなにハリーポッターファンというわけでもなく、映画も2作目くらいまでしかちゃんと見たことがありませんでした。それでも大体の登場人物は知っていたので、それなりに楽しめました。ふつうは映画で見たシーンと同じ場所を見つけて、「あーこういうシーンだったなあ、こういう風に出来たのか」と感心するところなのでしょうが、私の場合は逆でした。このスタジオツアーに行った後、ハリーポッターシリーズのDVDを見て、「あー、このシーンはスタジオで見た見た」「あーこの3階建てのバスは展示してあったなあ」「なるほど、このシーンを再現してたのか」などと、映画のほうでスタジオにあった展示シーンを確認して、感心するという具合でした。そういう意味では、私にとって、映画を見るうえでのガイドになってくれるというものでした。

道順の真ん中すぎくらいに休憩と食事ができる場所があって、そこで昼食を摂りました。入ってから出るまで、昼食休憩の1時間を挟んで、約5時間で、約5000歩でした。ハリーポッターファンでしょうか、各魔法学校の寮のマントを着て、魔法の杖を持った人たちも2割くらいいました。外国の人でもまああいました。天候の厳しい時期には行ってみてもいい場所かなと思いました。

理事会報告

★ Information

7月定例理事会

令和5年7月11日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

【1】報告事項

(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

資料により、6/16に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

(2) 各部報告

特になし

(3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 6/23 定時社員総会開催

福生市 6/20 定時社員総会開催

羽村市 7/4 今後のワクチン接種について行政と協議

あきる野市 7/7 行政との協議会開催

(4) その他報告

特になし

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、準会員3名の入会申請が紹介報告され可決承認された
また、準会員2名の退会、異動届2件が紹介された

(2) 令和5年度青梅市立今井小学校学校医の推薦について(依頼)

資料により、標記学校医の変更について依頼内容が説明され、望月友美子先生を推薦することが可決承認された

【3】協議事項

(1) 鬼木社会保険労務士事務所との委任契約締結について

資料により、標記契約内容(案)が説明・紹介され、契約締結が可決承認された

(2) 西多摩地域産業保健センター代表の就任依頼について

資料により、標記依頼内容が紹介され、進藤幸雄先生の就任が可決承認された

(3) 令和5年度高齢者インフルエンザ予防接種事業について(要望)

資料により、標記に係る行政からの要望内容が説明され、予防接種単価の交渉にあたり前年同様「三者協」単価に30円を上乗せした金額での交渉とすることが提案され可決承認された

(4) 令和5年度西多摩地域歯科保健推進検討会委員就任の承認について(依頼)

資料により、標記保健所からの依頼内容が説明・紹介され、依頼通り進藤会長の就任が承認された

【4】その他

(1) 令和5年度 第1回西多摩圏域がん対策事業担当者連絡会について

資料により、標記連絡会の内容等について紹介された

- (2) 東京女子医大総合診療科セミナーのご案内について
資料により、福生病院長からの標記セミナーに係る内容等が紹介された
- (3) 令和5年度西多摩三師会総会・意見交換会について
標記会合への当会会員の参加協力の推進が要請・依頼された

7月移動理事会 令和5年7月25日(火) 昭和館10階 ファルコネスト

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤)

【1】報告事項

(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

資料により、7/21に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

(2) 各部報告

学術部：資料により、7/11に開催された「多摩医学会役員会」の内容等について

総務部：年末の互助会主催「忘年クリスマス会」について、規模を縮小し正会員による意見交換会・懇親会の開催を検討中であること、及び、新年賀詞交歓会は例年通りの規模にて実施することについて

(3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 7/18 理事会開催

瑞穂町 7/18 定例会開催

災害時救護所設置訓練を実施

(4) その他報告

特になし

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、正会員1名、準会員1名の入会申請が紹介・報告され可決承認された
また、正会員1名、準会員1名の退会が紹介・報告された

【3】協議事項

(1) 令和5年度高齢者インフルエンザ予防接種事業について

資料により、標記事業の接種単価交渉結果が報告され可決承認された

【4】その他

- (1) 保健所等の協力のもと、8市町村の特定健診について相互乗り入れを検討する場を設け行政との話し合いを開始することとなった件
- (2) 学校法人菅生学園からの申し出により、西多摩医師会との連携事業を検討中

会員通知

○会報7-8月号

○宿日直表(青梅・福生・阿伎留)

○学術講演会(7/12、7/20、7/26、8/8、8/21、8/25、8/31、9/1)

○産業医研修会(東邦大学医師会 9/23)

○ ” (東京医科大学医師会 11/18)

○ ” (帝京大学医師会 11/3、4、18、19)

○ ” (順天堂大学医師会 12/23)

○健康スポーツ医再研修会(順天堂大学医師会 12/23)

- 健康スポーツ医再研修会（北区医師会 10/5）
- 令和5年度第1回西多摩医師会在宅医療講座開催案内（9/21）
- 令和5年度第2期分西多摩医師会諸会費請求書
- 医療保険委員会からのお知らせ（電話やオンラインによる診療を行う場合の診療報酬について）
- 〃〃（マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことが出来ない場合の対応）
- 青梅市立総合病院より 第16回「地域連携医療懇話会」開催案内（7/19）
- 〃〃 第28回「地域連携がん診療セミナー」開催案内（8/25）
- 〃〃 第3回「緩和ケア委員会研修」開催案内（9/28）
- 西多摩地域広域行政圏協議会より「治さなくてよい認知症」開催案内（10/7）
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：公立阿伎留医療センター（7/18）
- 「糖尿病合併症を理解するための勉強会（循環器専門医）」開催案内（9/7）
- 2023年度西多摩医師会定時社員総会報告
- 2023年度西多摩医師会互助会総会報告
- 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について（令和5年10月1日算定）
- 保健所だより
- 西多摩医師会写真・絵画展案内（9/19～24）ハガキ
- 不要になった水銀血圧計、水銀体温計の自主回収の実施について
- 障マル障、乳マル乳、子マル子、青マル青にかかるポスター掲示について（依頼）
- 令和5年度外国人未払医療費補てん事業の御案内
- 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための「糖尿病1日教室（於：公立福生病院）」（9/9）チラシ
- 学校医会報
- 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部改正について
- 令和5年度における外来データ提出加算等の取扱いについて
- 国民健康保険における第三者行為に係る診療情報請求明細書等の特記事項欄への記載等について（依頼）
- 「やさしい日本語」研修の周知について（依頼）
- エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について
- 乾燥ヘモフィルスB型ワクチン（破傷風トキソイド結合体）に係る「使用上の注意」の改訂について
- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う診療報酬上の特例等に関する整理（詳細版）（第2報）
- オンライン資格確認等システムの表示等について
- 「日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度応用研修会 第1回」【日本医師会より同時中継・動画配信】の開催について
- ヒアりに刺された場合の医療的留意事項について（再周知）
- 都内におけるヘルパンギーナの流行に係る情報提供等について
- 令和5年度地域小児医療研修事業 受講者の募集について
- 食中毒の発生について
- 「医療措置協定」締結等に向けた医療機関調査について
- 熱中症予防の普及啓発・注意喚起について
- 令和5年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集への協力依頼について
- 東京都が作成した妊娠や出産に係る都民向け普及啓発資材について（お知らせ）
- 令和5年度児童虐待対応研修【専門講座 第1回】の開催について（通知）
- 今後の新型コロナワクチン接種について（その5）
- 令和5年度「東京都女性活躍推進大賞」募集の周知について（依頼）
- 「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・事業所向け～」について
- 半導体不足の影響に伴うHPKIセカンド電子証明書のみ先行発行について

- オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について（情報提供）
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠 125 mg 及びラブレリオ® カプセル 200 mg）の適正使用について（再周知）
- 施設基準の届出状況等の報告について
- 毎月勤労統計調査（第二種事業所）の事前調査への調査協力依頼について
- 社会的重要インフラ自衛的燃料備蓄事業（石油製品タンク等）の周知依頼について（令和5年度予算 [第1回目]）
- 「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（周知依頼）
- 令和5年度 ヤングケアラー支援に係る研修の開催について
- 間違い接種の防止について（依頼）
- 公益財団法人東京都歴史文化財団から「ブルーライブ」へのご招待について
- オンライン診療その他の遠隔医療の推進に向けた基本方針について
- マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合の対応等について
- 「予防接種の事故予防」講演動画について
- 令和5年度 ヤングケアラー支援に係る研修の募集案内の修正について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 令和5年度「医療保険事務講習会」の講演動画及び資料のホームページ掲載について
- 在宅高齢者向けの都の支援策の周知について
- 犯罪被害による傷病の保険給付の取扱いについて（再周知）
- 令和5年度東京都医療機関物価高騰緊急対策支援金の概要について
- 再エネ設備導入に係る助成事業の御案内について
- 令和5年度第3回難病医療ネットワーク医療従事者向け研修の実施について
- 患者の車両送迎に当たっての安全確保の徹底について
- 電話や情報通信機器を用いた診療に関する診療報酬上の特例措置の終了について
- RS ウイルス感染症予防啓発リーフレットの送付について
- 令和5年度「日本医師会生涯教育講座」第II期（9月）の開催について
- 「日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度応用研修会第2、3回（Web講習会）」の開催について
- HPV ワクチンの積極的勧奨再開後の接種後の症状に関する相談窓口等について
- 熱中症予防の普及啓発・注意喚起について（再周知依頼）
- マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行う事ができない場合の周知資料について
- 電話や情報通信機器を用いた診療等を実施する医療機関の実施状況の報告について（7月分、8月分及び9月分）
- マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合における診療報酬等の請求の取扱いについて
- 無料求人広告をめぐる詐欺トラブルについて（情報提供）
- 今夏の新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に備えた保健・医療提供体制の確認等について（周知）
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠 125 mg）の使用にあたっての注意喚起に係る追加の情報提供（資材の活用の徹底について）
- マイナ保険証による保険資格確認に係る院内掲示用ポスターについて
- 令和5年度東京都在宅医療推進強化事業に係る Q&A の送付について
- 東京都肝疾患診療連携拠点病院が実施する研修の御案内について
- 令和5年度東京都病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修の開催について
- 公的職業紹介の機能強化と有料職業紹介事業の適正化について
- 「新型コロナウイルス感染症後遺症 オンライン研修会」収録動画の公開について
- 日本医師会 社会保険指導者講習会について
- 医薬品供給状況に関する緊急調査の御協力の御願いについて
- 新型コロナウイルス感染症の外来・検査体制の移行に向けたご案内について

- 夏季の省エネルギーの取組について（周知依頼）
- 2023年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動に対する協力について（依頼）
- ひきこもり支援に関するリーフレットの送付について
- 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する予防接種法施行規則及び予防接種実施規則並びに新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について
- 新型コロナウイルスワクチンの接種に伴い副反応を疑う症状が生じた者への対応について（再

周知)

- 今後の新型コロナワクチン接種について（その6）
- マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合における対応等に対する疑義解釈について
- 令和5年度児童虐待対応研修【専門講座第2回】の開催について
- 結核予防講演会開催の周知について
- 令和5年度第1回主治医研修事業（介護保険制度・障害者総合支援法）研修会の開催について

医 師 会 の 動 き

令和5年8月17日現在

医療機関数	2190	病 院	28
		医院・診療所	162
会 員 数	508	正会員	206
		準会員	302

会 議

7月11日	定例理事会
13日	宅難病調整委員会
25日	移動理事会
27日	在宅難病訪問診療（青梅）
8月3日	第2回西多摩地域糖尿病医療連携検討会
7日	在宅医療委員会
22日	広報部会（会報編集）
23日	学術部会
25日	学校医部会

講演会・その他

7月7日	医療保険委員会（整備会）
12日	学術Web講演会 《講演》 演題：「なぜ難治性皮膚潰瘍になるのか ～治らないのにはワケがある～」 演者：静岡社会健康医学大学院大学 学長・理事長 京都大学 名誉教授 宮地 良樹 先生
13日	法律相談
20日	学術Web講演会

『片頭痛セミナー』

《講演①》

演題：「総合内科専門医から見た片頭痛診療」

演者：（医社）仁成会 高木病院
院長 南 明宏 先生

《講演②》

演題：「かかりつけ医との連携による新時代の片頭痛治療」

演者：東海大学医学部附属八王子病院 脳神経外科 教授 下田 雅美 先生

26日 学術Web講演会

《特別講演》

演題：「超高齢時代に考える慢性便秘症の治療～慢性便秘症と腸内細菌叢も踏まえて～」

演者：目白第二病院 副院長
水野 英彰 先生

26日 「糖尿病教室」（書面開催）

講義1：「糖尿病とは」樋口正憲 先生

講義2：「糖尿病の食事入門」
内田せつ子先生

30日 東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会

(1) 労働関係法令と産業医の役割
産業医科大学 産業衛生教授

浜口 伝博 先生

(2) 産業医活動の進め方

産業医科大学 産業衛生教授
 浜口 伝博 先生
 (3) 職場の感染症対策 -事例検討-
 アッシュコンサルティングサービ
 ス合同会社 鈴木 英孝 先生
 (4) 職場のメンタルヘルス -事例
 検討-
 産業医科大学 産業生態科学研究
 所 作業関連疾患予防学 菅野 良介
 先生
 (5) 食生活習慣におけるチェック
 と職場での指導ポイント
 認定栄養ケア・ステーション和
 所澤 和代 先生

8月8日 学術Web講演会
 『Diabetes Web Conference』
 《講演》
 【Special Lecture】
 演題：「糖尿病性腎臓病を考慮し
 た2型糖尿病治療」
 演者：大阪公立大学大学院医学研
 究科 腎臓病態内科学 准教授
 森 克仁 先生
 【Discussion】
 ディスカッション：青梅市立総合
 病院 腎臓内科 医長 河本 亮介先生

9日 医療保険委員会（整備会）

21日 学術講演会
 『西多摩COVID-19カンファレンス』
 《講演》
 演題：「地域連携における一般診
 療としてのCOVID-19対応」
 演者：埼玉医科大学医学部 国際
 医療センター 感染症科・感染制
 御科 教授 関 雅文 先生

25日 学術Web講演会
 『在宅便秘症を考える会 in 多摩』
 《講演①》
 演題：「在宅における訪問看護師
 の排便コントロール」
 演者：訪問看護ステーションあん
 所長 窪田 和代 先生
 《講演②》
 演題：「超高齢社会での栄養サポー
 トと慢性便秘症治療の工夫
 ～便通異常症ガイドライン診療が

イドライン2023を踏まえて」
 演者：目白第二病院 副院長
 水野 英彰 先生

28日 「糖尿病教室」（書面開催）
 (予定) 講義1：「糖尿病と薬」 大戸規彰
 先生
 講義2：「コントロールの指標・
 糖質について」 内田せつ子先生

31日 学術Web講演会
 《講演》
 演題：「発達障害が隠れている「職
 場のうつ」の対策」
 演者：パークサイドこころの発達
 クリニック 理事長 原田 剛志 先生

役員出張

7月10日 東京都地域医療構想調整会議
 11日 多摩医学会役員会
 14日 東京都医師会学校医会第50回評
 議委員会・定時総会
 15日 西多摩三師会総会・講演会・意見
 交換会
 21日 地区医師会長連絡協議会
 21日 多摩ブロック医師会長連絡協議会
 25日 在宅医療推進強化事業地区医師会
 担当連絡会

8月3日 C型肝炎地域医療連携パス協議会
 (Web)

22日 生活保護法指定医療機関立会

【新規開業】

氏名 古味 良亮
 施設名 (医社) 真青会 こみ内科クリニック
 所在地 青梅市河辺町5-7-4
 MH河辺駅前ビル3階・4階

【入会会員】(正会員)

氏名 古味 良亮
 勤務先 (医社) 真青会 こみ内科クリニック
 出身校大学 岩手医科大学 平成26年3月卒

【退会会員】(正会員)

氏名 古味 隆子
 勤務先 こみ内科クリニック (廃業)

【入会会員】(準会員)

氏名 古味 隆子
勤務先 (医社) 真青会 こみ内科クリニック
出身校大学 東京女子医科大学 昭和58年3月卒

氏名 平塚 美由起
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 防衛医科大学 平成22年3月卒

氏名 福田 翔
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科歯科大学 令和5年3月卒

氏名 塩崎 正幸
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 埼玉医科大学 平成22年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏名 古味 良亮
勤務先 こみ内科クリニック (廃業)

氏名 黒木 秀仁
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 杉中 宏司
勤務先 青梅市立総合病院

【管理者変更】

(医社) 崎陽会 日の出ヶ丘病院
(新) 蓼沼 翼
(旧) 河原 和夫

【名称変更】

(新) ゆしまウイメンズクリニック
(旧) あきなかレディースクリニック

表紙のことば**『カトレア マキシマ』**

南米、エクアドル、コロンビア、ペルーの標高500～1400mのジャングルに自生しているカトレアです。エクアドルではクリスマスの花と呼ばれています。大株になりたくさんの花をつけ楽しませてくれました。

大河原森本医院 森本 晋

あ と が き

この原稿を書いているのはお盆明けの8月下旬です。皆様のお手元に届くときには9月になっていると思います。その頃にはこの暑さも和らいで、秋らしい心地良い気候になっていると嬉しいのですが如何でしょうか？

さてここ数年、毎年9月は新型iPhoneが発表、発売される月です。今年は順番通りならiPhone15シリーズが発売される予定です。最近のiPhoneの傾向として最新の技術を詰め込んだ最先端に行くモデルではなく、手堅く確実な進化を遂げた機種を出していると感じます。変化がゆっくりで毎年更新する必要はなくなっていると個人的には感じています。円安の影響もあって最新型のiPhoneは随分と高額になりました。現行の最高機種(iPhone14 Pro Max)はストレージを1TBにすると約24万円もするようになりました。個人的には最新機種を毎年更新するのはもうとっくに止めていて、今のところiPhone SE2からSE3を使用しています。スマホとして普通に使うにはこれで十分な性能だと感じています。ただ今年発売されるiPhoneには興味があります。それはiPhone 15には、「Lightning」ポート(差し込み口)の代わりにUSB-Cポートを搭載すると噂されているからです。iPad、Macは既にUSB-Cポートを搭載しています。最後まで残っていたiPhoneもついにポートが変わりそうです。それによってケーブルをUSB-Cケーブルだけにまとめることができ、外出時の利便性が向上するでしょう。またUSB-Cケーブルによってデータ転送も高速化され、更により高速な充電が可能になることも期待できます。

例年なら9月上旬に新型機種が発表され、下旬から発売開始となるはずですが、ネットではいろいろなリーク情報が出ていますが、果たして予想通りの変化になるか今年は久しぶりにワクワクしています。ただ現実には今より価格が上昇するとも噂されており、

iPhone SE シリーズに USB-C ポートを搭載してくれればそれで十分な気もしています。

機能面では既に iPhone よりアンドロイド携帯の方が先を行っています。特にサムスのギャラクシーシリーズは凄いと思います。機能面ではアンドロイド携帯に劣るようになりましたが、iPhone の良さは iPad、Mac とあわせて使用した時の利便性にあります。最新の OS を入れておけば、例えば Mac で文章を書いていて、その一部をコピーするとその文章を iPhone にペーストできます。これはほんの一例ですが、アップル製品を購入する利点として Mac、iPad、iPhone の機種

間でのデータの連携が素晴らしいことにつきます。新型 iPhone の発表にあわせて今年も OS のアップデートも始まります。今回も機能面でどれだけ使い勝手が良くなっているのか楽しみに待ちたいと思います。

今や日常生活には欠かせないガジェット機器。もう何年も機種変更していなかったり、OS のバージョンアップをしていない場合、この機会にチェックをしてみても如何でしょうか？数年経つと結構変化していて浦島太郎状態になります。秋の夜長の時間のある時にでもどうぞ。

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

お知らせ

保険請求書類提出締切日

令和5年10月（9月診療分） **10月6日（金）** 正午迄
 令和5年11月（10月診療分） **11月9日（木）** 正午迄
 （締切日以前の提出も可能です）

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
 毎月 **第2木曜日 午後2時** より実施いたします。

お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 **10月12日（木）**
11月9日（木）
- ◎場所 西多摩医師会館
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
（注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

一般社団法人 西多摩医師会

令和5年9月1日発行

会長 進藤幸雄 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会

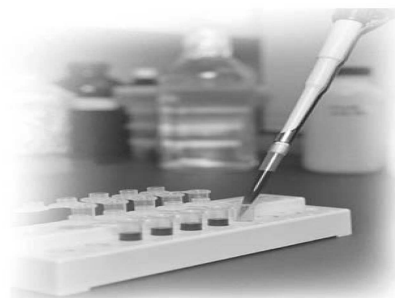
三ツ汐 洋 下村 智 鹿兒島武志 菊池 孝 奥村 充
 馬場 一徳 小高 哲郎 近藤 之暢 古川 朋靖 神應 知道

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>

ご契約後のフォローもオーダーメイドです。
どんなことでも、ご相談ください。



支えるのは、ライフプランナー®です。

お客さまとライフプランナーの関係は、ご契約
いただいてから保険金をお届けするまで長
きにわたります。そのために、私たちは生命
保険のプロフェッショナルとして、常に最新
の情報や知識を習得し、お客さまのお役に立
てるよう心がけています。けれども、生命保
険は人生の目的でなく、お客さまが豊かな人
生を送るための、ひとつの手段ではないかと
私たちは思います。そして、私たちライフプ
ランナーは生命保険を通じて、お客さまが人
生の夢を実現したり、困っていることを解決
するお手伝いをするを自らの使命と感じ、
喜びだと考えています。ですから、暮らしの
中でお困りの時には、生命保険のことはもち
ろん、それ以外でお悩みの時にも、どうぞ私
たちのことを思い出してください。
ライフプランナーは、いつもあなたのそばに
いるのですから。

※「ライフプランナー」は、ザ・プルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。

プルデンシャル生命保険

品川第六支社 ライフプランナー 静谷亮治(しずやりょうじ)
住所 : 141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー4F
電話 : 03-6779-4234

